

# 地産地消

1年2組 東川 真寿 1年2組 浅海 翔伍 1年2組 井上 脩  
1年2組 薬師神光希 1年2組 高橋 弘翔  
指導者 石丸 大祐・赤松 弘教

## 1 課題設定の理由

愛媛県では、地産地消について様々な場所で宣伝をしているのをよく目にする。そこで宇和島市民が地産地消の意識や産地にどのようなこだわりがあるかに興味を持ち、この課題を設定した。

## 2 仮説

宇和島市民の地産地消の認知度は高いが、実際に意識している人は少ない。また、国内産だけを選ぶのではなく、それ以外を選ぶ人もいるのではないかと考えた。しかし、農薬など様々な問題で、魚や肉に比べて野菜に対する地産地消の意識は高いと考えた。

## 3 実験・研究の方法

### (1) 調査方法

学校周辺のスーパーと道の駅の利用者に地産地消に関するアンケートの実施

### (2) 調査場所

エースワン宇和島店、フジ北宇和島店、サンシャイン宇和島店、道の駅きさいや広場

### (3) 調査日

2015年10月1日、同10月8日、同10月15日、同10月22日

### (4) アンケート内容

Q1 地産地消に対する意識はあるか。

Q2 国内産・国外産ならどちらを選ぶか。

Q3 一番産地を気にしている食品は何か。

## 4 結果と考察

仮説と結果（表1～3）を比較すると、地産地消の認知度も高く、地産地消を実際に意識して食品を購入している人も多いことがわかった。また、国内産と比べると、安全性は不確かだが値段が安いという理由で国外産を選ぶ人もいた。しかし、個人により意識される食品が違ったため、消費者が最も意識している食品には散らばりがみられた。

表1 Q1 地産地消に対する意識はあるか。(単位：人)

|        | はい | いいえ |
|--------|----|-----|
| A店の利用者 | 18 | 9   |
| B店の利用者 | 12 | 8   |
| C店の利用者 | 19 | 1   |
| D店の利用者 | 13 | 17  |

表2 Q2 国内産・国外産ならどちらを選ぶか。(単位：人)

|        | 国内産 | 国外産 | 気にしない |
|--------|-----|-----|-------|
| A店の利用者 | 25  | 1   | 1     |
| B店の利用者 | 11  | 9   | 0     |
| C店の利用者 | 20  | 0   | 0     |
| D店の利用者 | 27  | 0   | 3     |

表3 Q3 一番産地を気にしている食品は何か。(単位：人)

|        | 野菜 | 肉  | 魚  | 全て | なし |
|--------|----|----|----|----|----|
| A店の利用者 | 7  | 13 | 7  | 0  | 0  |
| B店の利用者 | 8  | 6  | 6  | 0  | 0  |
| C店の利用者 | 6  | 4  | 7  | 2  | 1  |
| D店の利用者 | 11 | 9  | 10 | 0  | 0  |

## 5 まとめと今後の課題

調査前は地産地消に対する意識が全くなかったが、インタビューをしているうちに、産地の風評被害など周りの環境について知りたいと思うようになった。

今後、地産地消の良さを今より多くの人に広めるためには、まず自分達はその意義をよく理解し、家族や友人など、身近な人と共に行動を起こすことが重要だと考える。

## 参考文献

特になし